

横浜市立すみれが丘小学校

平成27年度 学力向上アクションプラン

1 学校の状況と地域の実態

- (1) 本年度40周年を迎える古くからの落ち着いた住宅地である。保護者・地域の方も学校に協力的である。
- (2) 高学年に上がるほど、学習内容の理解力が高まる集団が多い。学校の学習で得た力だけではない要素が考えられる。
- (3) 26年度に引き続き、朝の一斉読書の時間を実施する。
- (4) 授業サポートにおいては、保護者だけでなく、地域の人材や外部講師にもサポートをお願いしていく

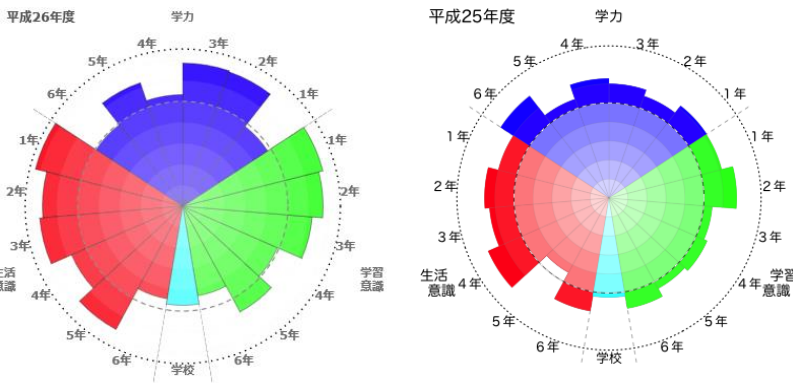
2 今後の方向（中期学校経営方針）

(2) 学力向上に関する指導の目標・方針（平成28年度末の姿）

- 言語活動を重視し、ノート指導の充実や相手や場を意識した話し方の基本指導を進め、互いに学びあう学習を展開する。
- 全校一斉の朝読書を行うことで、児童の基本的な言語の知識を深める。
- 授業のユニバーサルデザイン化に取り組み、誰もがわかりやすく参加しやすい学習の充実を工夫することで、自主的に学習に参加する姿勢を育てる。
- 重点研究をはじめとする研究・研修時間を確保し、研究・研修の内容を充実させる。

3 横浜市学力学習状況調査等からの平成27年度の実態把握

(1) 学力の概要と要因の分析



全体的には市の平均的学力を上回っている。学習意識、生活意識ともに高く、意欲的に取り組んでいることが伺える。
学年により違いもみられるが、ほぼ全ての学年で横浜市の平均を上回っている。学校全体としては市の平均を若干下回ったが、学習・生活意識は高まっていることから、学習に対する意欲は25年度よりも高まっていることがわかる。

(2) 教科学習の状況

- 学年によって違いはあるが、どの教科でも市の平均に比べ正答率が上回っている。
- どの教科もほぼ市の平均を上回っているが、内容によっては定着が不十分と思われるものも各学年に見られるので、27年度での学習で補っていく必要がある。

(3) 経年変化の状況と要因の分析（学習・生活意識調査も含めて分析）

どの学年も25年度より学習・生活意識が向上している。中でも、生活意識に大きな向上が見られ、日々の生活に意欲的に取り組んでいることがわかる。これら意欲の向上が今後の学力の向上につながっていくと考えられる。

全体としてどの教科も基礎・基本となる学習は内容によって違いは見られるものの、ほぼ身に付いていると思われる。活用の部分については学年によって十分とは言えない部分もみられるので、27年度の学習で補っていく必要がある。

4 平成27年度 目標と具体的方策

平成27年度 目標

わかりやすく魅力ある授業をめざして

(1) 学校組織としての共通の取組

- スキルタイムを活用した漢字学習・計算学習を日常化し、基礎学力を高める。
- 全校一斉の朝読書を実施し、読む力をつけるとともに、基本的な言語の知識をつける。
- だれもが参加しやすく、わかりやすい授業のための教材研究・教材開発を進んで学年で行う。
- 書く、話す、話し合う活動を重視し、各教科の特性に合わせたノートづくりの指導と、相手を意識した話し方の指導の充実を図り、児童がお互いに学びあう学習を展開する。



(2) 学年・教科等としての取組

○ 言語活動の充実

個別支援学級

- 個別の教育支援計画・個別の指導計画に基づき、話し言葉、表情、仕草、書き言葉等、発達段階に応じた適切なコミュニケーション手段を積極的に活用する場面を設けるようにする。
- 子どもの発達段階に応じて、各学年の取組を参考にし、必要な取組を行うようにする。
- 子どもに応じた分かりやすい情報発信をするなど言語環境の整備を行うようにする。
- 職員全体で共通理解を図りそれぞれの特性に合わせて活動の支援を行う。

1 学年

- 国語等で、説明する文章、紹介する文章を書くなど、表現活動を大切にすると共に、できる限り対話をする場面を位置づける。
- 分からないこと、詳しく知りたいことを尋ねたり気持ちを表情や態度、言葉で表したりしながら対話する。

2 学年

- 生活科等で体験を通して報告する文章や説明する文章を書くなど、表現活動を大切にすると共に話し合いをする場面を位置づける。
- 大事だと思った点を確かめたり、関連した情報を提供したりしながら話し合う活動を位置付ける。

3 学年

- 説明する文章や記録する文章を書くなど、表現活動を大切にするとともに、話し合いをする場面を位置づける。
- 自分の思いや考えを図や文章で表現する力を養う。
- 列挙したり、順序を考えたりしながら文章を読み取る学習を進める。

4 学年

- 相手の話す内容を正確に聴き取る力を育てる。
- 友達の見方・考え方から学びとっていこうとする学習意欲を育てる。
- 自分が伝えたいことを目的や必要に応じて文章などを引用してまとめる学習を進める。

5 学年

- 様々な学習で説明したり、意見を述べたりする文章を書く活動を大切に、相手や目的を意識した話し合いをする場面を位置づける。
- わかりやすく伝えるために、図や資料を利用する学習を位置付ける。
- 文章を読んだりや相手の話を聞いたりして必要な情報を要約する力を育てる。

6 学年

- 今まで身につけた様々な文章を書く力を意識的に生かすことができるようにするとともに、話し合いをする場面を位置づける。
- 国語では事実や資料から読み取ったことを基に自分の考えをまとめる活動を行う。
- 自分とは異なる意見と自分の意見を関係付けて、考えをまとめたり文章を書いたりする力を育てる。